

平成20年度

第2回

(国別研修)

**マラウイ小規模畜産経営指導者養成
実施要領**

平成20年6月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. コース基本情報	1
2. コース目的	1
3. 到達目標	1
4. 研修プログラム	2
5. 研修員参加資格要件	3
6. 研修実施体制	3
7. 研修の評価	4
8. 研修付帯プログラム	5
9. 宿泊場所	5
10. その他	6

付 属 資 料

付表－1 研修員の業務関連情報

付表－2 研修カリキュラム

付表－3 平成 20 年度日程表

付表－4 年度別受入実績表

1. コース基本情報

(1) コース名

和文：(国別研修)「マラウイ小規模畜産経営指導者養成」

英文：Country Focused Training Program on “Capacity Building for Extension Trainers for Small Scale Livestock Farming in Malawi”

(2) 受入期間

平成 20 年 6 月 29 日 (日) ～ 8 月 1 日 (金)

(3) 研修期間

平成 20 年 7 月 2 日 (水) ～ 7 月 31 日 (木)

(4) 定員、割当国

定 員：5 名

割当国：マラウイ

2. コース背景・目的

マラウイ政府は小規模畜産農家による生産力の向上のため、畜産技術に対する人材の開発を推進している。しかし国内において近年獣医および普及員の HIV/AIDS での死亡率の増加により人材の確保が非常に困難となっていることや、知識および技術にも限界があることが大きな課題となっている。政府としても積極的に問題に取り組んでいるものの、小規模農家のための研修実施等、対策にはかなり時間を要しているのが現状である。

本研修に参加した普及員が習得した畜産技術をマラウイ国内で応用し指導にあたることにより、小規模農家の家畜生産力を高め生計の向上につなげることを目的とする。

3. 到達目標

- (1) 家畜繁殖管理について説明できる。
- (2) 乳牛の衛生管理から生乳の質的管理まで乳生産過程を説明できる。
- (3) 飼料作物生産、貯蔵方法とその栄養価について説明できる。
- (4) 畜産物のマーケティングと普及方法について説明できる。
- (5) 小規模畜産経営に関する人材に対し指導計画を立案することができる。

4. 研修プログラム

(1) 研修内容

来日後一週間のオリエンテーションの後、帰国までの期間、研修を実施する。主に講義、実習、視察、討論から構成される。

ア. 研修カリキュラム（付表-2 参照）

イ. ジョブレポート（以下 J/R）発表会

(ア) 目的

- a. 研修員自身が問題点を再認識する。
- b. 研修員相互間で問題意識を共有する。
- c. 講師が研修員の業務内容、研修で習得したい技術・知識を理解する。

これらの発表を通じ、講師より個々の研修員の期待に対して研修でできること、できないことを明確に示す意見交換の場とする。

(イ) 発表内容

研修員は主に以下の3点について発表する。

- a. 自国でどのような業務に従事しているのか。
- b. 業務でどのような問題を抱えているか。
- c. 研修の中で習得したい技術、知識

ウ. アクションプラン（以下 A/P）発表会

(ア) 目的

- a. 研修員が帰国後に取り組むべき課題を明確にする。
- b. 可能な計画の立案能力向上
- c. 研修成果として発表会資料を帰国後利用する。

(イ) 発表内容

J/R で発表した問題点、また、研修中に新たに想定された問題点の解決のための計画を策定し、その目標達成のための A/P を発表する。必要記載事項として、タイトル、解決すべき問題に対する目標、期間、場所、実施主体、活動内容などについて記述する。

- (2) 使用言語 英語

5. 研修員参加資格要件

当該コース募集要項（General Information）（以下 G. I.）記載の条件

- (1) ブンダ大学の教員、マラウイ政府畜産局の普及員または研究機関職員
- (2) 畜産分野で3年以上の経験がある者
- (3) 大学卒業もしくはそれと同等の学力を有する者

各コース共通資格要件

- (1) 所定の手続により割当国政府から推薦されていること
- (2) TOEFL CBT 200 点（PBT 578 点）以上に相当する英語能力を有すること
- (3) 心身ともに健康なこと
- (4) 軍隊に服役していないこと

6. 研修実施体制

本コースは、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（以下 JICA 帯広）が計画するコースの実施に関する業務を独立行政法人家畜改良センター（以下 NLBC）に委託し、関係諸機関の協力により運営するものとし、具体的業務分担は次のとおりとする。

- (1) JICA 帯広
 - ア. 実施計画書作成（コース目的、到達目標、期間など）
 - イ. 評価
 - ウ. 実施予算の執行管理
 - エ. G. I. および実施要領等の作成
 - オ. その他
- (2) NLBC
 - ア. 日程表の調整・作成

イ. 講師、視察先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配

エ. その他

(3) コースリーダー(帯広畜産大学)

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言等

(4) 研修監理員

研修期間中、(財)日本国際協力センター (JICE) 所属の研修監理員を配置する。

ア. 関係者間の連絡調整

イ. 通訳・翻訳

ウ. その他

7. 研修の評価

(1) 評価の目的

コースの到達目標（1頁参照）に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点を整理し、コースの質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による到達目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICAによる評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 改善検討会

研修員帰国後に、評価結果に基づき、JICA、コースリーダー、NLBCが参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降のコース改善に向けて対応方針を検討する。

8. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に帯広国際センター(以下 OBIC: Obihiro International Center)で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、パスポート・ビザの有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

OBIC で実施し、日本の社会・歴史・文化・政治・経済・教育などの紹介をする。

(3) 日本語講習

国際交流および研修員の日常生活のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として10時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程(予定)

日 程	内 容
6月 30日(月)	ブリーフィング
7月 1日(火)	ジェネラルオリエンテーション
7月 5日(土)	日本語講習
7月 12日(土)	日本語講習

9. 宿泊場所

帯広国際センター (OBIC)

所在地: 〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

10. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修ビザを取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

以上

平成20年度(国別研修)マラウイ小規模畜産経営指導者養成コースカリキュラム(案)

カリキュラム	研修方法	研修内容	時間数(日)
単元目標 1: 家畜繁殖管理について説明できる。			
日本での家畜改良の歴史	講義	日本の畜産の現状と歴史、農業経営、政策計画、畜産物の需要と供給、家畜改良センターの役割	0.5
牛の凍結精液製造	講義(実地講習会)/実習	牛の凍結精液製造とその過程	2.0
人工授精	講義(実地講習会)/実習	人工授精の手法: 牛の繁殖サイクルの基礎、遺伝の基礎と遺伝子改良概論	2.5
単元目標 2: 乳牛の衛生管理から生乳の質的管理まで乳生産過程を説明できる。			
乳牛の管理	講義/農家視察	乳牛の管理一般: 繁殖障害の管理	1.0
生乳の集荷技術	講義/農家視察	生乳の集荷技術における歴史的展開・概論と大学の農場牛を使用した実習	1.0
生乳の質的管理法	講義と農家視察	酪農家及び工場レベルでの生乳の質的管理	1.0
単元目標3: 飼料作物生産、貯蔵方法とその栄養価について説明できる。			
家畜栄養と飼料	講義・実習	飼料作物と貯蔵方法(主にサイレージ調整)、乾草の生産と調整、飼料作物の栄養価と栄養計算(サイレージの開封、評価を含む)	1.0
飼料作物生産のための土壌改良	講義/実習	飼料作物生産のための土壌改良技術	2.0
単元目標 4: 畜産物のマーケティングと普及方法について説明できる。			
農場マネージメント	講義と農家視察	日本における一般的な酪農運営	1.0
農協システム	講義と農協視察	十勝の農協における酪農開発の歴史、構成要素や機能	1.0
参加型手法	講義と実習	参加型手法の基礎、帯広畜産大学の学生及び教官との協同作業による参加型手法	1.0
農民学校	講義/視察	農民学校モデル、マラウイにおける農民学校デザイン案(農民学校についてのマラウイ研修員のアイデア)の考案	1.0
単元目標 5: 小規模畜産経営に関する人材に対し指導計画を立案することができる。			
アクションプラン作成指導/作成準備	討論	各自の課題を整理し、帰国後本邦研修で得た知識・技術を生かした指導計画を作成する。	2.0

平成20年度国別研修「マラウイ小規模畜産経営指導者養成」コース日程(案)

月日	曜日	時間	種類	研修内容	受入機関(担当)	研修会場
6月29日	日			来日		
6月30日	月	9:30~10:00 10:00~17:00		入館式 集合ブリーフィング	NRC	OBIC(ブリーフィングルーム)
7月1日	火	9:00~17:40		ジェネラルオリエンテーション	NRC	OBIC(ブリーフィングルーム)
7月2日	水	9:00~11:20 13:30~14:30 15:00~16:30 17:00~18:00		市長表敬、JICAブリーフィング、所長講話 開講式、コースオリエンテーション ジョブレポート発表会 フライトミーティング	JICA	OBIC(オリエンテーションルーム)
7月3日	木	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	農民学校 北海道立土幌高等学校	帯広畜産大学 門平 睦代 准教授	帯広畜産大学
7月4日	金	9:00~11:30 12:15~14:30 15:15~16:00	講義 実習	参加型手法	帯広畜産大学 門平 睦代 准教授	帯広畜産大学
7月5日	土	9:30~16:00	講義	日本語研修	NRC	OBIC(セミナー1)
7月6日	日			休日		
7月7日	月	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	日本における家畜改良の歴史 ／牛の精液製造技術(1)	NLBC十勝牧場	NLBC十勝牧場
7月8日	火	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	人工授精(1)	NLBC十勝牧場	NLBC十勝牧場
7月9日	水	9:30~12:00 13:00~16:00	視察 講義	更別村農業協同組合 堆肥施設 飼料作物の土壌改良(1)	帯広畜産大学 筒木 潔 教授	OBIC(セミナー3)
7月10日	木	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	人工授精(2)	NLBC十勝牧場	NLBC十勝牧場
7月11日	金	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	人工授精(3)	NLBC十勝牧場	NLBC十勝牧場
7月12日	土	9:30~16:00	講義	日本語研修	NRC	OBIC(セミナー1)
7月13日	日			休日		
7月14日	月	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 視察	農協と農業共済のしくみ 川西農協	帯広畜産大学 仙北谷 康 准教授	OBIC(セミナー4)
7月15日	火	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	アクションプラン作成指導／中間報告とりまとめ	帯広畜産大学 門平 睦代 准教授	OBIC(セミナー1)
7月16日	水	9:30~11:00 11:00~14:00 15:00~16:00	講義 視察 実習	農場マネジメント トヨクニファーム、加藤ファーム 大学でのセミナー	帯広畜産大学 門平 睦代 准教授	帯広畜産大学
7月17日	木	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	家畜栄養と飼料 (飼料作物と貯蔵手法)	NLBC十勝牧場	NLBC十勝牧場
7月18日	金	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	牛の精液製造技術(2)	NLBC十勝牧場	NLBC十勝牧場
7月19日	土	13:30~15:30	スタディ ツアー	移動:帯広→新札幌 "コーンズ・エコ・ファーム"(視察)		
7月20日	日	10:00~11:00	スタディ ツアー	北海道開拓記念館(視察) 移動:南千歳→帯広		
7月21日	月			休日		
7月22日	火	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 演習	乾草の生産と調整	NLBC十勝牧場	NLBC十勝牧場
7月23日	水	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	乳牛の飼養管理	帯広畜産大学 木田 克弥 准教授	帯広畜産大学 フィールド科学センター
7月24日	木	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	飼料作物の土壌改良(2)	帯広畜産大学 筒木 潔 教授	帯広畜産大学
7月25日	金	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 視察	生乳の質的管理法	十勝農協連 西部 潤 参事	十勝農協連
7月26日	土			休日		
7月27日	日			休日		
7月28日	月	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	乳牛の搾乳衛生	帯広畜産大学 木田 克弥 准教授	帯広畜産大学 フィールド科学センター
7月29日	火	9:30~12:00 13:00~16:00	講義 実習	飼料作物の栄養と栄養計算	NLBC十勝牧場	NLBC十勝牧場
7月30日	水	9:30~12:00 13:00~16:00		アクション・プラン作成準備	帯広畜産大学 門平准教授/ ヒル講師	OBIC(セミナー2)
7月31日	木	14:30~15:30 16:00~17:30 17:30~18:30		評価会 アクション・プラン発表会/ 閉講式/ 閉講パーティ	JICA	OBIC(会議室、セミナー4)
8月1日	金			帰国準備		
8月2日	土			帰国		

年度別受入実績表

応募/選考（受入）人数

○男性●女性

	19年度	20年度	累計
応募人数	3名	5名	8名
	2○1●	4○1●	6○2●
受入人数	3名	5名	8名
	2○1●	4○1●	6○2●